

JGAP認証審査を終えて

審査までの活動

- 2020年3月
認証取得へ向けた取り組み開始
仕組み作りや運用
- 2020年8月
家保による立ち入り検査
(飼養衛生管理基準遵守状況の確認)
- 2020年10月
みんなで救命救急講習受講
- 2020年11月
審査の練習、確認のための勉強会等
- 2020年11月19日
本校にて認証審査を実施

11月19日、本校でJGAP認証 審査を実施しました。参加した生徒8名は、前日夜遅くまで確認し、審査当日は活動の成果を自分の言葉で審査員に説明することができました。難しいことに挑戦し、それを「大人に説明をする」という経験は、なかなか体験できない貴重な経験になったと思います。

緊張感が漂う中ででしたが、言葉を発するうちに徐々に緊張もほぐれ、時には笑いも起こり、終始和やかな雰囲気が進めることができました。審査を受けることがゴールではありません。不足部分を改善し、これからもさらによりよい農場の仕組みづくり続けていきます。来年は畜種を追加し、牛でのJGAP認証取得にも挑戦して、渥美農業高校の畜産全体を、よりよいものにしていけたらと考えています。



↑審査前日、夜暗くなるまで最後の確認をし合う姿が印象的でした。↑

黒豚たちの

第1回出荷がもうすぐ！

JGAP取得に向けて活動してきた中ですが、もちろん6月に生まれた豚もすくすく成長を続けています。出荷体重120kgを目安に出荷していきますが、先日の体重測定で一番大きな豚が100kgを超えました。肥育豚は1日当たり1kgのペースで増体していくため、順調に進めば12月中には第1回目の出荷がありそうです。本校にとっては、昨年11月の全頭出荷時以来の出荷になるので、待ち遠しいです。この豚たちの発育は、現在専攻生が調査をしています。毎週体重測定をし、1週間ごとの発育の変化を調べています。これから肥育を始める子豚たちも、今後同様にデータを集め、黒豚の発育具合を明らかにしていきます。



専攻生のつぎやき

担当：
椋田 僕は毎週、卒業論文のための実験で、肥育豚の体重測定をしています。豚の体重をはかるのは、菰田 重い豚たちが全然動かないので本当に大変で疲れます。初めてこの豚たちに会った、生まれたての頃は両手で包み込めるくらい小さかったのに、今ではとても大きくなっています。短い期間でよくこんなに大きくなるもんだと感心してしまいます。この豚たちも来月くらいから少しずつ出荷が始まっていきます。それまでの残りの期間、たくさん可愛がってあげようと思っています。

